



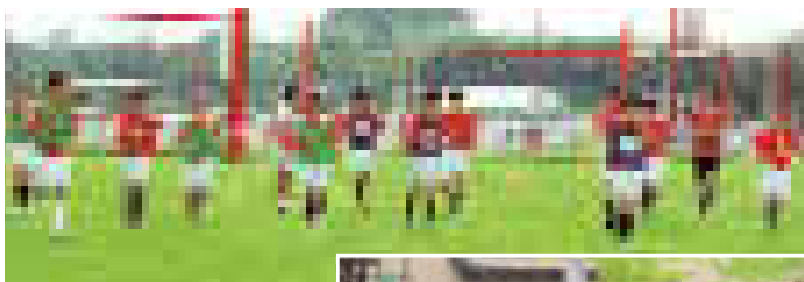
Little Diamonds

JUNIOR YOUTH

出場記念特集

第22回日本クラブユース選手権(U-15) 自分自身を成長させるために。 さあ、全国大会へGO!

浦和レッズジュニアユースが8月11日(土)から第22回日本クラブユース選手権(U-15)に挑む。Jクラブの下部組織、強豪の市民クラブとの戦いが始まる。1点を追い、1点を守る。そして勝利を目指す。一つ一つの試合がチームと選手を大きく成長させ、勝つことによって、新たな戦いの場に進むことができる。前々回優勝、前回ベスト4の成績を収めてきたレッズジュニアユースだけに、全国からマークされることは必至。夏本番で、3連戦あり、集団生活ありと、ふだんと違う条件も試練だ。それもレッズの戦いとして受け止め、力を100パーセント発揮してほしい。



最後の調整も順調
(8/3/レッズランド)



これから夏真っ盛り。
体調管理も十分に

関東予選準々決勝/東京ヴェルディ戦



関東予選 3回戦 / FC厚木戦

惜しみなく運動量を発揮できるチーム 実力のみならずプラスアルファも大事

監督 名取 篤

今年のチームも例年と変わらず、攻守の切り替えが速く、惜しみなく運動量を発揮できるチームに仕上がっています。

今季はクラブユースの予選としては試合が少なかったですが、関東リーグに参加して毎週緊張して試合に取り組めたのであまり心配はしていません。

ここへきて、サイドからのクロス、細かいパスをつないでゴール前までいく、個人での突破など攻撃に関してのバリエーションが出てきました。前のほうでボールが動かせばいいと思います。

先制されても慌てずにみんなで向かえば点は取り返せるという自信もついてきたと思います。

浦和レッズということで注目されているでしょうが、それは良いプレッシャーになると思います。全国にはいろいろなタイプのチームがありますから、それらと対戦することは間違いなく勉強になるし、成長できるでしょう。

この大会では実力に加えて、プラスアルファがないと勝ち抜けないですから、試合に出ている11人以外のサポートがいろいろなところで必要になってくると思います。



関東予選 2回戦 / クラックス松戸戦



1 GK 中島 聡志
Nakajima Satoshi
 3年 / さいたま別所SS
 チームの守護神、声でチームを動かす



3 DF 石田晋ノ介
Ishida Shinnosuke
 3年 / さいたま南浦和SS
 大けがを乗り越えた努力家のDF



5 DF 西山 航平
Nishiyama Kohei
 2年 / さいたま常盤SS
 瞬発力はチーム一、相手FWを自由にさせない



7 MF 矢島倫太郎
Yajima Rintaro
 3年 / 東松山新宿SS
 右サイドの職人 またくフェイントは見もの



2 MF 鈴木 悠太
Suzuki Yuta
 2年 / 東松山南SS
 ナイフのような切り返しで相手DFを翻弄する



4 DF 町山 阿記
Machiyama Aki
 3年 / 柳瀬レッドローズSS
 スピードとヘディングを生かして攻撃の芽を摘む



6 MF 岡本 拓也
Okamoto Takuya
 3年 / さいたま道祖土SS
 最終ラインを統率するディフェンシブリーダー



8 MF 若井 祥吾
Wakai Shogo
 3年 / 川口戸塚SS
 アイデア溢れるプレーで中盤を支配する

全国大会出場までの歩み(関東予選)

県予選免除、2試合で全国決定

今季から新しく始まった関東ユースリーグ(U-15)に参加しているチームは、クラブユース選手権の各都県予選を免除される。浦和レッズジュニアユースも、関東予選からの参加となり、しかも昨年までグループリーグ~決勝トーナメント方式で行われていた同予選が、52チーム全体によるトーナメント戦となった。

関東予選のトーナメント2回戦から出場となるレッズジュニアユースは、2試合勝ち抜ければベスト8入りし、全国出場が決まる。逆に初戦で負ければその時点で全国への道が閉ざされ、2試合目で負ければ8チームによる9~10位決定トーナメントに回り、2試合勝ち抜けなければならないという状況だった。

関東予選

【2回戦】
 ・6/16 2-1 クラッキス松戸
 得: 鈴木大2

【3回戦】
 ・6/17 3-1 FC厚木
 得: 岡本2、若井

【準々決勝】
 ・7/7 2-5 ヴェルディ
 得: 磯部、広瀬



関東予選2回戦、先制されたが前半のうちに逆転した(6.16/クラッキス松戸戦)

被先制にも動じず逆転勝ち

6月16日(土) 関東予選初戦。会場の熊谷運動公園で行われた第1試合では、先制した大宮アルディージャジュニアユースが神奈川県の厚木FCに追いつかれ、最後はPK戦で敗れ姿を消すという波乱があった。レッズの相手は千葉県のカラックス松戸。前半早々に速攻から先制される。絶対に負けられない試合でいきなりピハインドを負ったが、選手たちが浮き足立つことはなく、しっかりパスをつなぐスタイルを崩さずに反撃。相手ゴール前での広瀬健太のショートパスに鈴木大輝が合わせ、まず同点とする。さらに鈴木大のループシュートが決まって逆転に成功した。

リードして臨んだ後半は主導権を握って試合を進め、風上ということもあり、



9 FW 鈴木 大輝

Suzuki Daiki

3年 / 越谷宮本SS
チームの頑張り屋 試合の流れを作るレフティ



11 MF 広瀬 健太

Hirose Kenta

3年 / 川口北スポーツSS
ダイレクトが得意なゲームメーカーで得点能力もある



13 DF 遠藤 拓

Endo Taku

2年 / さいたま文蔵SS
小太りだがスピード溢れるDF



16 GK 小笠原正人

Ogasawara Masato

3年 / さいたま駒場SS
フィールドでもプレーできるGK センスはピカイチ



10 FW 磯部 裕基

Isobe Yuki

3年 / さいたま大牧SS
キャプテンとして全国制覇を目指す闘将



12 MF 篠田 達郎

Shinoda Tatsuro

3年 / さいたま沼影SS
ロングシュート、FKを得意とするオールラウンダー



14 FW 清水慎太郎

Shimizu Shintaro

3年 / 新座片山SS
得意なポストプレーでタメを作れるストライカー



19 MF 西澤 秀平

Nishizawa Shuhei

1年 / 松山SS
大柄でも技術のしっかりしている1年生

点目が入れば勝敗はほぼ決する展開だったが、シュートはことごとく枠の外へ。相手の反撃を抑えてそのまま2 - 1で勝利した。

しっかり勝利して全国決定

翌17日(日)に熊谷スポーツ文化公園で行われた3回戦は、前日大宮を破ったFC厚木ジュニ



関東予選3回戦、終始主導権を握って3 - 1で勝利した(6.17/FC厚木戦)

アユースが相手。前半のうちに岡本拓也、若井祥吾がゴールして優位に試合を進め、後半にも岡本が追加点。守備的なポジションの選手の得点で勝ちを収め、ベスト8入り。3年連続の全国出場を決めた。

関東代表の順位を決める準々決勝以上は7月7日(土)から河口湖サッカー場で再開。レッズは東京ヴェルディジュニアユースと対戦し、先手を取られながらも磯部裕基、広瀬健太のゴールで追いつき前半は2 - 2。しかし後半退場者を出したこともあり、3失点してベスト4進出はならなかった。他のJクラブ下部組織との対戦の機会を失ったのは残念。

そのヴェルディが関東2位になったことにより、大会規定でレッズジュニアユースは関東6位として全国大会に臨むことになった。

Jヴィレッジで力が磨かれる

関東リーグで、強豪チームとの対戦は増えたが、県予選免除、トーナメント方式の関東予選など、



強豪チームとの対戦が選手たちを磨く(7/7/東京V戦)

全国出場までの予選数は大幅に減った今季。レッズジュニアユースの力は、これからJヴィレッジで磨かれることになる。関東リーグで敗れた川崎フロンターレ、東京ヴェルディも全国大会に名を連ねており、借りを返したい相手だ。また、昨年グループリーグで奈良県の高田FCに敗れた経験もある。Jクラブ以外のチームに簡単に勝てる訳ではないことも肝に銘じておく必要がある。

元気良く、行ってきます!

~キャプテン、コーチングスタッフから

激しくいけるチーム みんな仲良く頑張れる

キャプテン 磯部裕基

関東予選では初戦でいきなり先制されましたが、みんな落ち着いて逆転勝ちできました。全国大会が決まる3回戦では、あまり緊張せず、勝つことができました。2試合勝ただけで決まるのは楽な感じもしましたが、準々決勝のヴェルディ戦は厳しい試合になりましたから、みんな気持ちは緩んでいません。

今年のチームは去年よりも激しくいけるチームです。全国でもいつもの自分のたちのサッカーをしたいです。途中で気持ちが緩むと点を入れられてしまうので、引き締めていきたいです。

長い集団生活ですが、みんな仲が良いので頑張っていけると思います。

生活面のケアが大切、食事はしっかり

アスレティック・トレーナー 安齋健太郎

選手たちの力が引き出せるようにしていくのが私の役割です。たとえば期間中、非常に疲れがたまりやすいと思いますし、集団生活の中でも体調を崩さないように気をつけたいと思います。また食事に関しても生活に関しても、ふだんとは違う訳ですが、そんな中でもいつもの力を出せるようにしていきたいです。勝ち抜いて長丁場になればなるほど、生活面のケアが大事になってきます。食事の量が減ったり体重が減ったりという変化にも気をつけていきます。

良い経験としてとらえ、強い気持ちで

コーチ 池田伸康

まずリズムよく試合に入っていけるようにしたいですし、生活の面でも中学生らしい行動が取れるように、オンとオフのところをしっかりと切り替えていきたいです。勝負するというのはどの試合にも付き物ですが、試合を1つのステップとして、良い経験として大会をとらえて、自分がどれくらいできたか、というのがわかってくれれば、どのチームも強いチームですが、強い気持ちを持って試合に取り組んでくれれば良いと思います。

生活で何が大切かを感じてほしい

GKコーチ 杉尾一憲

選手のコンディションに気を遣っていきたいです。長い大会になるので、生活の面で何が大切になるのかを選手たちもしっかり感じてほしいと思います。そういうところにも影響してくると思います。



21 MF 小峯 洋介

Komine Yosuke

1年/さいたま北浦和SS
スマートなプレースタイルでキラーパスを出すMF



25 DF 小出 啓太

Koide Keita

2年/さいたま北浦和SS
1対1に強いDF パスセンスもある



22 GK 大石 祐輝

Oishi Yuki

2年/長鶴SS
身体能力高いGK

速報!

レッズユースが高円宮杯出場!

浦和レッズユースの高円宮杯第18回全日本ユース選手権(U-18)出場が8月4日(土)決定した。

今季のプリンスリーグ関東で5位となり、同リーグ4位までに与えられる高円宮杯出場権を逃したレッズユースだが、同リーグ1位で出場を決めていた市立船橋高校が、全国高校総体で決勝に進出し、高体連枠での出場となったことから、レッズユースの繰り上げ出場が決まった。

高円宮杯第18回全日本ユース選手権(U-18)は9月9日(日)からグループリーグが始まり、決勝が10月8日(月・祝)に埼玉スタジアムで行われる。

第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

主催 (財)日本サッカー協会、
日本クラブユースサッカー連盟

期日 8月10日(金)~8月19日(日)

会場 Jヴィレッジ

方式

グループリーグ

4チーム×8グループでリーグ戦を行う。
順位は勝点(勝ちに3、引き分けに1)、得失点差、総得点、当該チーム同士の対戦成績、抽選の順で決定する。

試合時間は35分ハーフ。

決勝トーナメント

グループリーグの結果、各グループ上位2チーム、計16チームが決勝トーナメントに進出する。

試合時間は40分ハーフ。ただし同点の場合は10分ハーフの延長を行い、さらに決しない場合はPK方式で勝敗を決める。

出場チーム(グループ分け)

- < Aグループ > 清水エスパルス / 湘南ベルマーレ / ベガルタ仙台 / 富山北 FC
- < Bグループ > ヴィッセル神戸 / 浦和レッズ / シルフィード FC / 横浜 F・マリノス
- < Cグループ > 鹿島アントラーズ / SSS / 大分トリニータ / アルビレックス新潟
- < Dグループ > 柏レイソル / プレイズ熊本 / 高田 FC / ジュビロ沼津
- < Eグループ > 横浜 F・マリノス 追浜 / セレッソ大阪 / FCみやぎ / ハジャス FC
- < Fグループ > 東京ヴェルディ / FCライオス / ジュビロ磐田 / 愛媛 FC
- < Gグループ > 京都サンガ / 町田 JFC / 01ディアマント鹿兒島 / SQUARE富山
- < Hグループ > ガンバ大阪 / サンフレッチェ広島 / FC東京むさし / 川崎フロンターレ

大会スケジュール

- 8月10日(金) 代表者会議
- 8月11日(土) グループリーグ
- 8月12日(日) グループリーグ
- 8月13日(月) グループリーグ
- 8月14日(火) 休息日
- 8月15日(水) ラウンド16
- 8月16日(木) 準々決勝
- 8月17日(金) 休息日
- 8月18日(土) 準決勝
- 8月19日(日) 決勝(13:30)

その他 優勝および準優勝チームは高円宮杯 第19回全日本ユース(U-15)選手権大会に、日本クラブユースサッカー連盟代表チームとして出場する。

レッズジュニアユースのグループリーグ

- 8/11 10:30 vs シルフィード FC (PITCH2)
- 8/12 15:00 vs 横浜 F・マリノス (PITCH7)
- 8/13 13:00 vs ヴィッセル神戸 (PITCH3)